



「靴型装具のすべて (理論と実際)」

W.マルクワルト著, 加倉井周一訳

「この本の出来たのを、誰よりも嬉しく感じているのは私であろう。靴とは私は思えば長い付合であった。」水野祥太郎先生は、この本に寄せられた序文の冒頭に、感慨をこめてこのように書かれている。

靴は先生のご指摘をうけるまでもなく、整形外科医をはじめ、装具、足部変形に関係する人々にとってはゆるがせにできぬ重要な課題のはずである。とはいえ、すでに十数年装具に関係してきた私が、靴というものについていかに無知であったか、私の読後感、よい本を手にしたという満足感に、自責の念がからむ複雑なものであった。

原著者の Marquardt は整形外科の治療用装具について多くの著述や論文のある現代ドイツの第一人者であるという。この本はその彼によって書かれたドイツの整形外科矯正靴製作者のための教科書である。

内容は理論の総論と、実践の各論とにわかれる。総論では歴史、人体の前進運動と生物学的基礎、下肢の解剖と機能の解説、整形外科的障害と治療計画の説明につき、靴の歴史、矯正靴の任務と可能性、足底板、大量生

産靴への補正、靴の採型、設計などが述べられている。また各論では足変形の一つ一つについて、その状態像、治療法の解説、および矯正靴の種類、処方、注意事項などが述べられている。写真や図が豊富に挿入され、説明は具体的でわかりやすい。

訳者の加倉井周一先生は、この方面での第一人者に数えられるが、訳者の言葉の中で翻訳の苦勞を述べておられる。靴の名称など慣れない術語が多く、原著はきわめて難解であったに違いない。そのためか、読者が理解しやすいようにと、靴の基本事項についての解説と、靴の各部についての名称の日、独、英の対訳表を附録としてつけておられる。本書が広く読まれ、私たちに欠如していた“矯正靴”についての知識が普及し、この方面での臨床が改善していくことを期待したい。

(A3 175頁 ¥9,800 パシフィックサプライ(株) 1983)
(パシフィックサプライ 住所: 〒530 大阪市北区天神橋1-18-18 Tel. 06(352)5708)

(北九州市立総合療育センター医師 高松 鶴吉)